

もったいないを ありがとうに変える取組

捨てられる食品やまだ使える物品を地域活動など別の取組で活用してもらうことで、「ありがとう」が生まれる活動に変わっています。
もったいないをつないで、社会的課題に対応する取組を充実させること、これが「もったいないをつなぐネットワーク」の目指すところです。

食

こども食堂などの 地域食堂

子どもも大人も集まって、調理や食事片付け、遊びをともに行うことで参加者やボランティアの気持ちが和らいだり、楽しい気持ちになることを目的とした地域食堂の食材や参加者のお土産として活用されています。



配食活動

地区社会福祉協議会などが行う、高齢者宅等への配食活動（まごころ弁当）の食材として活用されています。

地域



サロンなどの居場所

地区社会福祉協議会等の地域団体が行うふれあいいきいきサロンでも活用しています。参加者の楽しみにつながり、もったいない意識の醸成にもつながっています。

相談

生活困窮者支援など 相談場面に

市・区社会福祉協議会が行う相談事業など、さまざまな専門機関が行う相談の場面で活用しています。

物をお渡しすることで、相談のきっかけになり、関係性作りの一つにもなっています。

相談者は「もったいないものを減らす」活動に協力していただいています。

「ありがとう」の声をいただきました。

食品を活用された佐伯区観音社会福祉協議会の広報紙「かんのんだより」に「ありがとう」の声を掲載いただきました！

食品提供のお礼

SDGsへの取り組みに力を入れているセブンイレブン・ジャパンさまとフレスタさまの2つの企業より、「もったいないをつなぐ」「有効活用することで食品ロスの削減する」という取り組みの一環として、広島市社会福祉協議会を通じて、醤油やみそなどを寄贈して頂きました。観音社協では、まごころ弁当に活用させてもらいました。2つの企業の取り組み「もったいないをつなぐ」ことのお手伝いをする中で、普段からまごころ弁当を利用してくださる方々、そしてお弁当作りに参加してくださる方々、配達等のお手伝いをしてくださる方々の笑顔をさらにつなぐことができたことにとても感謝しています。
本当にありがとうございました。



これらの活動は、食品ロス対策を第一目的として行っているわけではありません。しかし、廃棄される「もったいないもの」をつないで地域活動に活かすことで、結果として活動が充実したり、団体が継続できたりすることにつながります。もったいないをつなぐネットワークでは、つなぎ、活かすための活動をしています。

これらの活動に、参加したい、詳しく知りたい、自分の住む地域にどんな活動があるか知りたい、等の場合は、広島市社会福祉協議会までお問い合わせください。

社会福祉法人 広島市社会福祉協議会（地域福祉推進課地域共生係）

※もったいないをつなぐネットワーク 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号 広島市総合福祉センター（BIG FRONTひろしま6階）

電話 082-236-6172 FAX 082-264-6413 E-mail kyousei@shakyohiroshima-city.or.jp